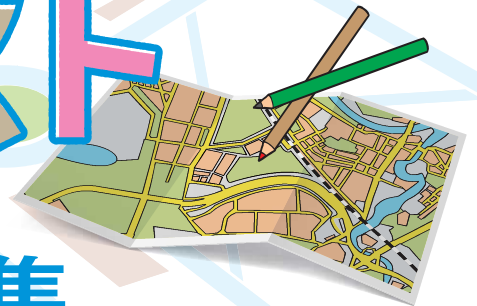


2014 家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト

入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう!

主催 / 福井豪雨から10年ふくいの水防災を考える会 NHK福井放送局 福井新聞社
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

2014 家族でかくにん！
わが家のぼうさいコンテスト
入賞作品集



表彰式で福原輝幸審査委員長（右）から最優秀賞の賞状を手渡される安達志織さん
＝10月11日、福井市の福井商工会議所ビル



表彰式で感想を述べる受賞者ら



表彰式会場で行われた入賞作品展

主催者あいさつ

国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長 森久保 司

福井県に大きな被害をもたらした福井豪雨から今年で10年となります。

その後も東日本大震災や広島豪雨などの自然災害による被害は全国で後を絶ちません。福井県内でも平成25年9月に発生した台風18号が、嶺南地方を中心に大きな被害をもたらしました。

こうした自然災害はいつ発生してもおかしくない状況にあります。今の小学生は、福井豪雨を実際には経験していませんが、この地域で営みを続ける限り伝承し続けなければなりません。そのためにも我々は、福井豪雨を教訓に日頃から防災に対する意識を持ち備えておかなければなりません。

このため、今回の「ぼうさいコンテスト」は、以下の4つを目的として実施しました。

1つは、各家庭にある市町から配布されたハザートマップを見て、自宅、学校、職場などが水害でどういう被害の可能性のある場所なのかを確認する。

2つは、被害の可能性のあるのなら、避難が必要なのか、避難場所はどこなのかを確認をする。

3つは、いつ起こるか分からない災害に家族でどう行動するのか、事前に決めておく。

4つは、ハザートマップからだけでなく、家族や地域の人から過去の災害の体験を伝承する。

これら水災害の備えを考えるきっかけとして、家族でつくる防災マップづくりを企画しました。

これを機に日頃から防災への意識を持っていただくことで、災害時における行動に役立て、皆さまの安全・安心につながることを期待しています。

本コンテストの実施に際して、たくさんアイデアや工夫の詰まった作品を応募していただきました皆さまやご協力いただきました審査委員や関係者の皆さまに心から感謝いたします。

平成26年11月

もくじ

1 入賞者一覧

2 審査委員名列

3 審査講評

審査委員長 福井大学大学院教授 福原 輝幸氏

7 最優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 安達志織さん

9 優秀賞 作品紹介

小浜市国富小学校 5年 大谷柊翔さん

福井市東郷小学校 6年 小川しずくさん

13 NHK 福井放送局長賞 作品紹介

福井市社北小学校 6年 酒井彩伽さん

15 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 福谷和信さん

17 入選作品の紹介

25 奨励賞作品の紹介

37 全作品紹介

39 ふくいの水防災を考える会の活動紹介

2014 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



安達 志織さん
福井市豊小学校6年



酒井 彩伽さん
福井市社北小学校 6年



中林 莉瑚さん
福井市豊小学校 6年

平木 悠太さん
福井市豊小学校 6年

飛永 萌衣さん
小浜市国富小学校 5年

青木 優那さん
福井市和田小学校 2年



義元 佑奈さん
福井市豊小学校 6年

帰山 あいさん
福井市豊小学校 4年

小幡 美侑さん
福井市社北小学校 6年

島田 真佑さん
福井市社南小学校 5年

銅 健吾さん
福井市羽生小学校 6年

山本 真奈花さん
鯖江市河和田小学校 5年

高鳥 あゆさん
小浜市国富小学校 5年

古谷 颯汰さん
小浜市国富小学校 5年



大谷 柁翔さん
小浜市国富小学校 5年



小川 しずくさん
福井市東郷小学校 6年

福谷 和信さん
福井市豊小学校 6年

田中 ももさん
福井市豊小学校 6年

大村 望乃さん
福井市豊小学校 4年

酒井 雄人さん
福井市社西小学校 4年

大塚 琉世さん
福井市豊小学校 5年

谷口 紫音さん
福井市豊小学校 4年

中村 和匡さん
福井市社北小学校 6年

小林 大翔さん
福井市日新小学校 3年

野尻 凜華さん
福井市羽生小学校 6年

倉谷 穂乃花さん
小浜市国富小学校 5年

出口 涼帆さん
小浜市国富小学校 5年

齊藤 温大さん
福井市豊小学校 6年

瀬野 佑月さん
福井市豊小学校 5年

川崎 菜々子さん
福井市社北小学校 6年

南部 優来さん
福井市豊小学校 5年

堀内 健人さん
福井市豊小学校 4年

吉岡 陸さん
福井市社北小学校 6年

酒井 未来さん
福井市美山啓明小学校 5年

笠松 憲人さん
福井市羽生小学校 5年

辻井 雅崇さん
小浜市国富小学校 5年

藤内 統真さん
小浜市国富小学校 5年

審査委員名列

審査委員長 福原 輝幸氏 福井大学大学院教授

審査委員 青野 正志氏 前国土交通省近畿地方整備局
福井河川国道事務所長

柿下 毅氏 福井地方気象台長

竹内 成和氏 福井県土木部技幹

飛田 幸平氏 福井市危機管理対策監

秋山 光智氏 NHK福井放送局長

山本 道隆氏 福井新聞社取締役営業局長



審査講評

〈審査委員長〉 福井大学大学院教授 福原 輝幸氏

集まった作品はどれも審査委員の足を止めさせ、じっくり見させるような魅力がありました。そんな中、最優秀賞、優秀賞、NHK福井放送局長賞、福井新聞社長賞、入選、奨励賞を選考することは、審査委員全員が頭を悩ますことでした。

福井豪雨の体験や教訓を書き記した言葉を読んでもみると、災害・避難は家族ごとに微妙に違うことに気付かされました。例えば、川の水があふれて家がつかった、土砂混じりの水が家の周りを流れたなど、一見して同じ災害の現象と思われがちですが、その状況は住んでいる地域の地形、道路、家の建て方、雨の降り方によって違ってくることが分かります。さらに家族構成、家族が一緒にいるかいないかという状況によって、避難の仕方が変わってきます。今回の作品から避難準備や避難方法は家族が話し合っで決めることの重要性、および地域の人と防災に関する情報、知識が共有できれば、より素早く安全な避難行動に結び付くことを認識させられました。ここにコンテストの意義の一つがあった気がします。

また、多くの作品に共通していたのは避難訓練の大切さを指摘していた点でした。中でも福井豪雨で被災された地域からの作品は、同じような表現ではありながら被災経験に基づいた迫力が感じられました。

私は心臓救命装置と呼ばれる AED の訓練を 2 回受けました。物忘れが激しくなってきたせいか、年 1 回でも訓練を受けないと使い方を忘れてしまいます。忘れることは人命救助への自信を失わせ、救命行動を緩慢にさせます。でも、一旦訓練を始めれば手順を思い出してきます。間違いなく、訓練をしていない人よりも一つ一つの動作に対する順応性は高まります。何よりも大きな声で「大丈夫ですか?」という問い掛けに恥じらいがなくなります。防災・避難訓練も訓練の大切さは同じだと思います。年ごとに雨の降り方や町の状況は変わります。特に自分の住んでいる地域の変化は、地域の危険性や安全性を変える可能性があります。訓練を繰り返すことで、その場に応じた適切な避難行動が素早くとれると思います。それが生死を分けることになるかもしれません。

「わが家の防災」、これは家族で考えて家族全員が助かることを願って作られたものと思います。家族全員が「無事でよかったね」と言える、あるいはその気持ちを多くの人と分かち合いたいという願いをうまく伝えた作品が、受賞につながったと思います。ぜひ、皆さんも受賞作品を参考にして、わが家の防災を形にしてみましょう。家族のために!

2014 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品紹介





福井市豊小学校 6年
安達 志織さん



受賞者コメント

防災マップ作りで一番工夫したことは、防災に関する場所とその様子を写真とふき出し、色画用紙で見やすく表現したことです。

苦労したことは、家族で何を話し合えばよいのか分からず、話し合いがなかなか決まらなかったこと、暑い中、いろいろな場所をまわって調べたり、写真をとったりするのが大変だったことです。

このマップを作るまでは、防災ハザードマップや、非常用かばんの中など、ほとんど見たことがありませんでした。また、避難所や学校の備蓄倉庫、貯水タンクのことなども知りませんでした。でも、これらのことを家族と一緒に調べていくうちに、自分でも防災に対する意識が高まっていったように思います。また、家族で決まりごとなどを話し合っていくことで、家族の絆をよりいっそう深めることができたと思います。これからも、家族で防災に対する意識を高めていきたいと思っています。今回の取り組みをして本当に良かったです。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

“防災訓練に参加すること”がわが家の約束の最初に書かれてあり、家族全員で防災の知識を共有し合おうとする点が素晴らしいです。家族が別々の場所にいる際に向かう避難場所をきちんと決めていることは、家族の安否確認にとって大切なことです。避難や防災に必要な物資が写真から一目で分かるので、避難準備時間の短縮が期待できます。市の洪水ハザードマップを自分の地域の洪水ハザードマップに作り上げたことに、防災の意識と知識の高さを感じました。





小浜市国富小学校 5年
大谷 柁翔さん



受賞者コメント

夏休みに防災マップの作成に取り組みました。

防災マップを描くのに苦労したところは、地区の危険な場所などをいろいろな人から聞いて防災マップに描き込むことでした。工夫をしたところは、だれが見ても分かるように、分かりやすい記号やしるしを使ったところと、色使いも考えました。地図のいろいろなところを丁寧に塗れたのが良かったです。

今まで僕は、地区のすべての避難場所や危険な場所を知っていたわけではなかったので、とてもよい経験になりました。

あらためて時間をかけて、防災マップの作成に取り組んでみてよかったと思います。

防災マップを描いてみて、地区の危険な場所や避難場所を確認することができました。

僕は、防災について考えて、自分の地域について詳しく知ることができて、とてもうれしかったです。もし、災害が起きたなら、このことを思い出して、すぐに行動ができるようにしたいです。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

自分の住んでいる地域で大雨が降ったらどんなことが起こるかを想定し、それを防災マップの中に描いていることに感心しました。矢印で示す避難経路の途中で想定される危険性が単純な図柄で分かりやすく示されたマップです。家族と一緒にいない場合の連絡方法を決めていること、一人で避難しないなど、避難の基本が家族内で徹底されています。避難準備物が絵で紹介されており、必要とする物を自分なりに理解、表現している工夫がなされています。

大谷さん家の防災マップ

◎ 災害に備えて準備しておく物

- リュックサック・かい中電灯・水・食料・軍手・けいぞう汁・予備デジ
- 救急用品・ヘルメット・タオル・モーフ・けいぞう電器・ティッシュペーパー

★ 家族で決めたこと

- 連らくを取る方法を決めておく。
- いっしょにいなかったときの集合場所を決めておく。
- 1人では行動しない。

地図を見て分かったことや気づいたこと

- ぼくの家を周りは、雨がふると水があふれだす場所が何か所もあることが分かりました。
- もし災害があったら、家から近い高塚区ひなん所へにげるといことが分かりました。
- 村の中は道がせまくて、村の周りに広い道があることが分かりました。



福井市東郷小学校 6年
小川 しずくさん



受賞者コメント

8月に起こった広島土砂災害。ニュースの映像を見て「大変だなあ」「起こってほしくないなあ」と思うのですが、正直なところ、ぴんときません。このニュースを見ていた母から、10年前にも大きな災害があった事を聞きました。当時、私は1才でした。だから、こわい体験もしていないし、覚えていないので福井豪雨のことについて調べる事にしました。

土砂くずれがあったお家の人に当時の様子を聞くと、時間で覚えている方が多かったので、それをまとめてみました。まとめてみると、話がどんどんつながっていて、なぜ解きをしている気分になりました。それに川の色をほとんどの人が見ていた事にびっくりしました。

当時の副自治会長さんに災害時の写真をもらい、見てみました。道が川になっていて、いつも見ている川があふれ、山がくずれている写真が何枚もありました。いつも見ている風景がこわされていて、災害のこわさが分かった気がしました。母は「写真は大切だね。忘れたころ、こんな写真を見ると災害のおそろしさが分かるし、しずくに危険さを伝えてくれるからね」。本当にそうだなあと思います。

福井豪雨を調べて災害のこわさが分かったし、災害が起こったらどこに逃げ、どう避難するか考える事が出来ました。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

この防災マップは自分の住んでいる地域にどのような危険箇所があるかをコメント付きの写真で分かりやすく紹介しているだけでなく、近所の人からの聞き取り情報もマップに生かされている点に特長があります。きっと、近所の人たちにとっても役に立つマップに違いありません。お父さんが九死に一生を得たこと、お母さんから聞いた洪水の状況や避難に関する反省は避難行動の参考になるでしょう。また、災害に対するわが家の弱点がしっかりと話し合われていることに感心しました。

2014年 7月19日の様子

近所の人に聞いて分かった事

AM

- 5:00 公民館の横の川があふれそうと電話が入る (当時副自治会長) ちびきん
- 5:30 お寺の鐘を鳴らす時にお墓を見ると白くきれいな水が境の森に流れていった。(お寺さん)
- 公民館では近所の人に声をかけようと言うと決めた。(会長・副会長)
- 6:10 お寺の自まつ水が赤茶色に変わり危険だと感じた。(お寺さん)
- A地点の山から赤茶色の水と一緒に岩や木が崩れ落ちた。流れ止んだ。
- 神社の鳥居が崩れて地響きが鳴る。(お寺さん)
- 川が土砂でつまり通り止まった。流れた。(お寺さん)
- 公民館の川もあふれた。(お寺さん)
- 9:00 女家のドアまで土砂が来た。(お寺さん)
- 9:30 お寺の鐘を鳴らしたお寺の方から土砂が来たという知らせが来た。(お寺さん)

お父さん

山の様子を見に行こうと道を歩いたら土砂です。すると、長ぐつの中に水が入って重くてウォーターズライターみたいな道にすわりこんでしまいました。あ、という間に7~8m流されて橋の下に流されそうになりましたが、なんとか立ち上って流れの弱い所に避難したそうです。

また、その時持っていたスコップはその日の夕方橋の下の土砂の中から発見されました。もし、橋の下に流されてしまっていたら...

お母さん

1才の私とまだ小さかった兄と外出する時「クワイク」と話しながら窓から外をのぞくと坂道に岩や流木がゴロゴロと上から落ちていたそうです。下に川に岩や木がたまっているし、上からは岩がゴロゴロ落ちてきます。怖かった。どこに逃げればいいのか分からなかった。たまたま、奥の川があふれたお家の方から「お母さん、お母さん、早く逃げなさい」という声がかかって逃げた。

わが家の問題点

1. 平家である。(高い所に逃げられない)
2. 西・南・東に川がある。(家を囲んでいる)
3. 東側の山が土砂災害危険区域である。

感想

いままで「感心が無かったのですが」これをきかずに話を聞くと自分か「思っている以上にこわくなりました。また、私の家はとてもしずくに家と川が近かったのでも、早めに逃げる事が大切だと分かりました。」

家族で決めたい事

- ・1人で外を見に行かない!
- ・東側(山側)の川は寝室の窓から様子が見えるから川の水位が水量で早めに避難する!

災害時の避難場所
小学校

写真 西 南 東



福井市社北小学校 6年
酒井 彩伽さん



受賞者コメント

10年前の7月18日、私はまだ1才の時でした。足羽川の堤防から約3キロもはなれた私の町にまで、水がしん水してきたという事を聞いてとてもびっくりしました。

そこで、今回、家族で防災について話し合う事に決めました。

まずはマップ作りです。東に足羽山があり、近くにある大きな用水路、電柱など、ふ段は特に危険とは思わないものが、災害時には注意が必要だという事に気がつきました。

また、福井新聞にのっていた「やってみよう防災ピクニック」を参考に、非常袋に必要な物をつめ、私達の第1避難場所である緑苑公園に行き、実際に非常食も食べてみました。非常食といっても、そのまま食べられるものもあるけれど、お湯で温めなければいけないものもありました。また、手がよごれたり、トイレがしたくなった場合、実際はどうなるのかという問題点も出てきました。

水は、私達の生活にとっても大切なものであることにも気がつきました。

今回のマップ作りをきっかけに非常袋を作って、「階段の下に置いておく」というわが家のルールができたので良かったと思いました。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

いろいろな災害の防災・避難マップがコンパクトにまとめられた素晴らしい作品です。洪水危険度を床上・床下で色分けしている点、水害・地震・土砂崩れの危険箇所が色分けされ示されている点に工夫が見られます。特に水圧でマンホールや側溝のふたが開いていけばそこが危険な場所になること、および電柱が水路境界の目印になることを指摘した観察力の高い作品です。防災ピクニックは楽しく防災学習ができる素晴らしい発想です。皆さんもぜひ家族でやってみましょう。

防災・避難マップ

～いろいろな災害～
酒井 彩伽

初めに
● わたしの家は、土砂災害の危険があまり、無いので洪水、地震災害について調べました。下のマップは家の周辺を表した防災・避難マップです。

川 馬車場団 図書館 知事公舎
近げない! 危険!
地震で
おぼがたおれてくる
から... 深さ2.5m? 危険!
緑苑公園 第一避難所
最終避難場所は
社北小学校
TEL 35-836 危険!
水圧側溝のふた
が開いてい
ないか注意! 危険!
山 危険!
もし上げる場合は
こちらの方へは絶対
来ない!

1 ...ゆが上しん水
...ゆが下しん水

- ...水害の時の危険な所
- ...地震の時の危険な所
- ...土砂災害の時の危険な所

★洪水になった時

～空振りでも早めの避難、地域同士の助け合い～
酒井 彩伽
(市政広報 Fukuiより)

● 地域の人から聞いて分かった ● 調べ分かったこと

1 町内会長さんに聞きました。
Q 10年前の被害はどんなでしたか?
A 緑苑地区はほとんどが、わか下しん水でした。一部、わか上の戸所もありました。
Q 町内での防災対策は?
A 公園を整備しました。また公園内に「たまご」の施設を作。とてもいい市にはたきかけました。

2 地域の人に聞きました。
Q 10年前の被害はどうでしたか?
A わか下しん水でした。またA車は少しはなれた所に移動して、自分たちは二階に避難しました。大変でした。
Q 10年前の被害はどうでしたか?
A わが家(Aパート)は、わか上しん水でした。子ども(わたし)もまたまいた。たので、必要な物をまとめて、親しい家に避難するのが、精一はいいでした。水が増えいくのがとても怖くて、こわかったです。

① にげるのに長ぐつはダメ!! 理由 → 水につかると足下が不安定で歩きづらい。
② マンホールや側溝に注意! 理由 → 水圧でふたが開いてしまうことがある。長いほうを持って移動するとよい。
③ 電柱を目印! 理由 → 道路と用水路との境目がわからなくなる。
④ 水ごころにさまざまな物が流されているので、とても危険!
⑤ 土のうは自分でも作れる?! 理由 → ① 45L以上のゴミ袋を二枚重ねにする。 ② ゴミ袋の中に水や土をためる。 ③ 空の段ボール箱の中に入れて必要な場所に置く。 *

★ やってみたよ! 防災ピクニック

★ 気がついたこと
公園までは徒歩約3分だった。走っていると2分。
水が入っているリュックはとても重かった。→リュックの、いかにもので、水が重い方がいいと分かった。
非常食を食べたが、これを朝、昼、晩と3食、食べるのはとてもつらそう。非常食の持ち運びも、のどもぐくし、レトルトの食料でお湯を使うから、予想以上に水は必要だと感じた。
★ 家族で相談したこと
① 地域での行事には積極的に参加し、地域同士の輪をかく。
② 非常食はいついかなる時に備えておく。中身とときどきチェックする。
③ 家族が別々の場所にいる時、それぞれの場所と団体行動をとる。

7 (社北北より)



福井市豊小学校 6年
福谷 和信さん



受賞者コメント

ぼくが防災マップを作る時に苦労したのは、雨水貯留管の流水口の写真を撮る時です。豊公民館のマップを頼りに、流水口の場所を探していきました。暑いし、日ざしも強かったので、逆光になることもしばしばありました。

工夫したことは、避難の順序を書いたことです。「福井市防災ハンドブック」をはじめとする災害に関する本を調べて、オリジナルの避難順序を考えました。イラストも書いて、できるだけ分かりやすくしたつもりです。さらに工夫したことは、マップに避難場所、水につかった時の深さ、雨水貯留管の経路や、流水口なども書いたことです。

マップ完成直後に、大雨がふり、さっそく手順を確認しながら準備をしました。幸い何事も無かったですが、とてもドキドキしました。広島での土砂災害や、東日本大震災、原子力発電所の事故など、災害は様々です。このような災害が起こる時、ぼくたちは、どう行動すべきかを、今後も考えていきたいです。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

家の周りの危険箇所として水の流入口を取り上げ、その状況を写真で紹介している点は、家族の独創性を感じさせます。場所による浸水深さ(危険度)の違いが分かりやすく表現されたハザードマップも魅力的です。避難行動の順序がイラストで示されていること、家族が集合するまでに取るべき各自の避難行動が具体化されていることに感心しました。隣のおじさんの体験談を読んで、私自身、家族皆で安全に避難することの難しさを勉強させられました。

ぼくらの防災マップ

避難の準備

避難に必要なもの

- 懐中電灯
- 非常食
- 筆記用具
- ラジオ
- モバイルバッテリー
- 乾電池
- 携帯電話

避難の順序

- 1 天気 状況を確認する
- 2 危ないと思ったら、すぐに家具を二階に上げ、避難の準備をする。そして周りの人に警告する。
- 3 避難指示が出たら、避難場所へ逃げ出す。

インタビューコーナー!

おじさんの話 福井豪雨の様子を見て、道が川のようにならなりました。木が流れていたり、車がつかつかたりしてました。避難指示の音も聞こえませんでした。妻は、犬が吠えているから、と家の中へ逃げました。孫は、おじさんが、救急車を呼んで、病院へ送りました。

家族と決めたこと

- 学校にいる時は迎えに来るまで待っている
- 家にいた時は日赤病院へ向かう
- 自分の身は自分で守る
- 電話が使えない時は玄関先に集合場所
- 学校 赤十字病院

災害のことを調べて分かったこと

- 災害に役立つこと
- 足羽川を底をメトリル下げて、雨水貯留管を作った

危険だと思ったこと

- 八幡山の土砂災害
- 足羽川の決壊

シールドマシン

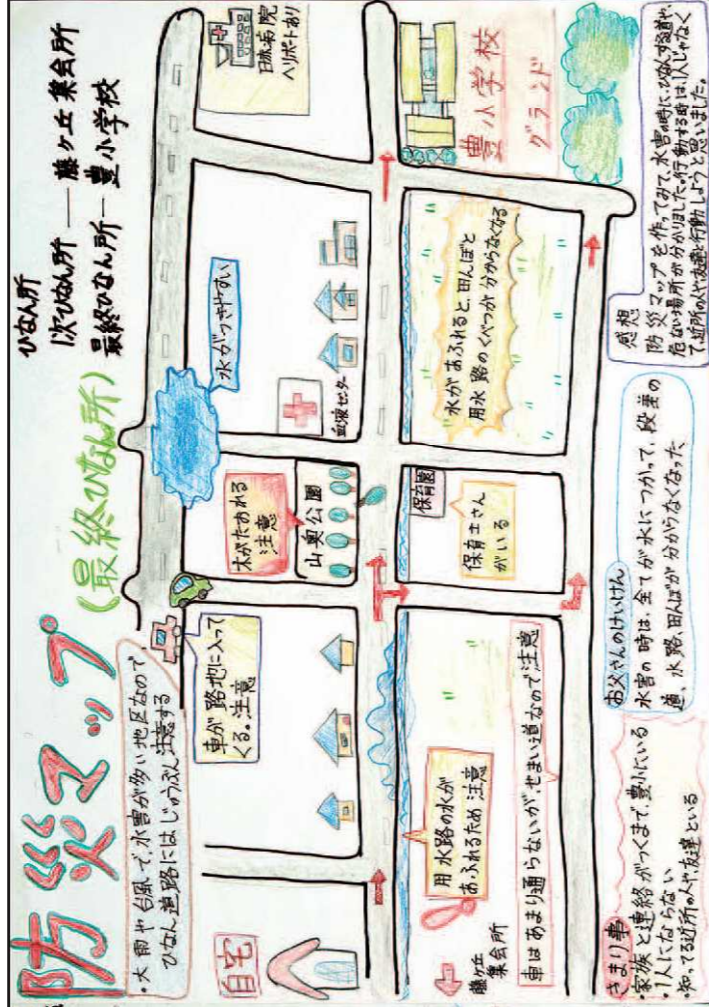
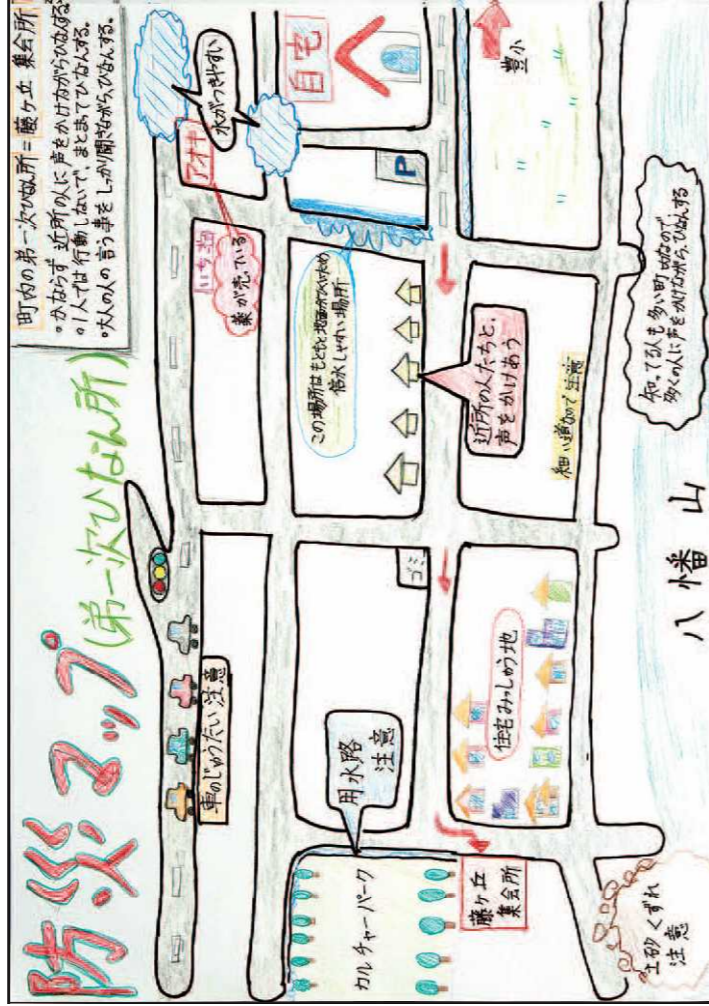
シールドマシンは雨水貯留管の工事に使われ、直径375cmの大型の円形ドリル。先の方についていると、本体が回転して、土を削り、掘削速度は毎分1メートルです。



福井市豊小学校 6年
中林 莉瑚さん

講評 (審査委員)

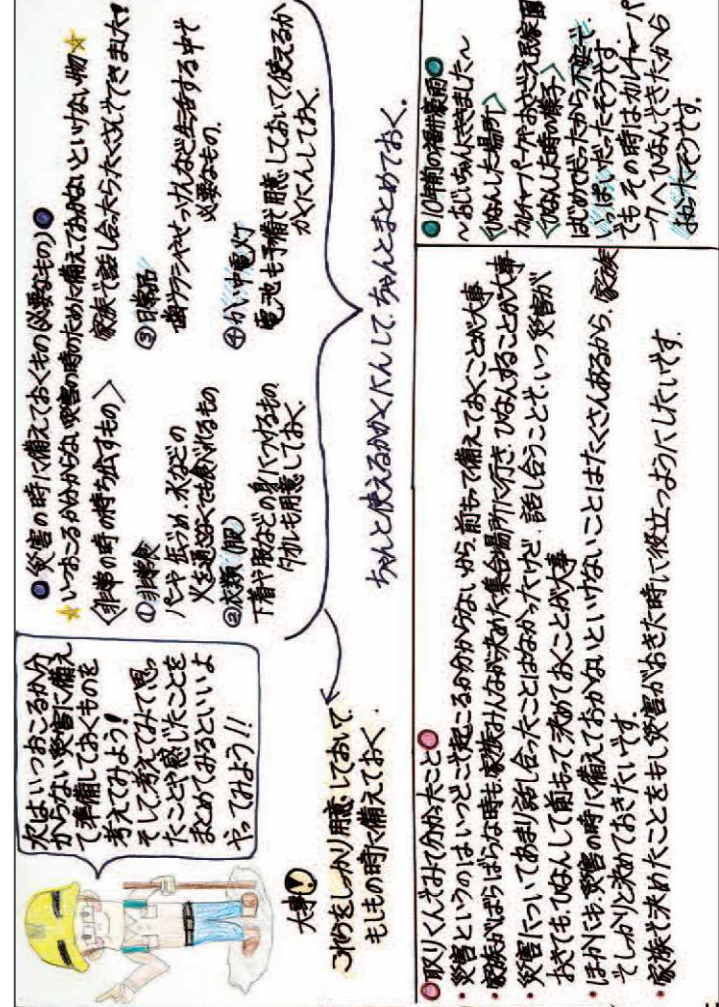
避難場所やその経路、浸水の恐れのある危険な場所など住んでいる地域の様子がよくまとめられています。特に、避難するときに、近所の人への声かけとか、頼れる人や目印になる建物、途中で注意する箇所と内容がよく分かります。お父さんの経験もまとめられており、避難するときのイメージがわくような作品です。



福井市豊小学校 6年
田中 ももさん

講評 (審査委員)

自宅から避難場所までの地図が危険箇所と一緒に分かりやすく表示されています。福井豪雨を体験したおじいちゃんなど家族とも十分に話し合っている様子がよく分かります。かわいいうイラストやポイントとなる部分には色づけするなど、目を引く工夫がみられます。

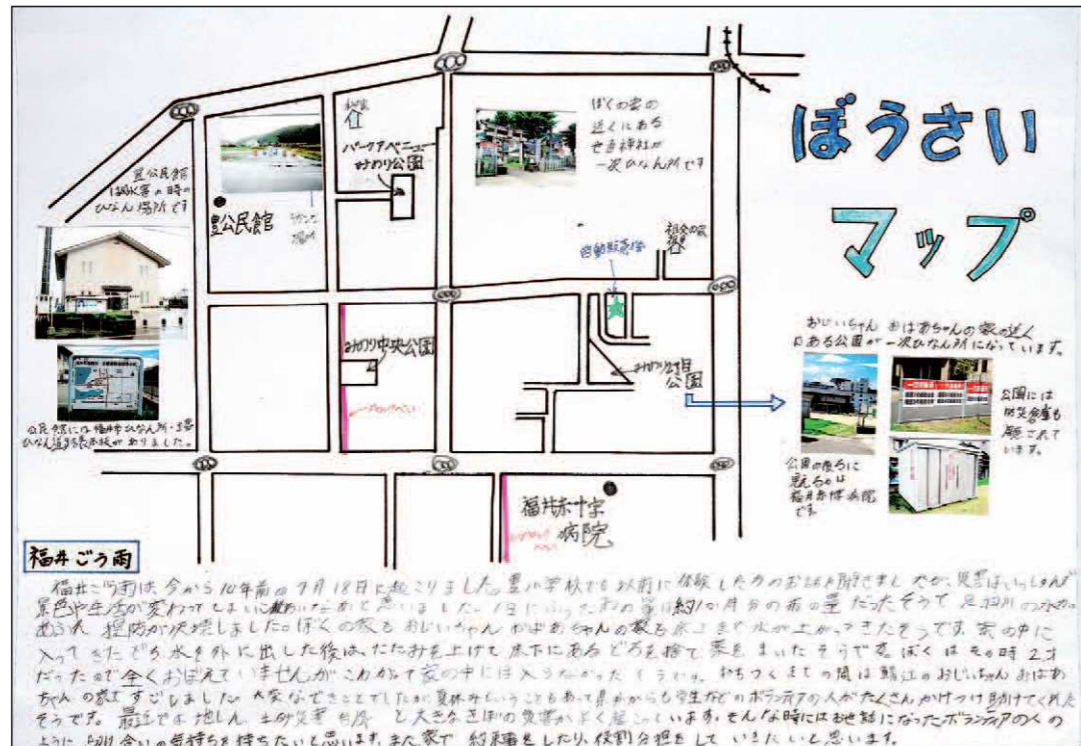




福井市豊小学校 6年
齊藤 温大さん

講評 (審査委員)

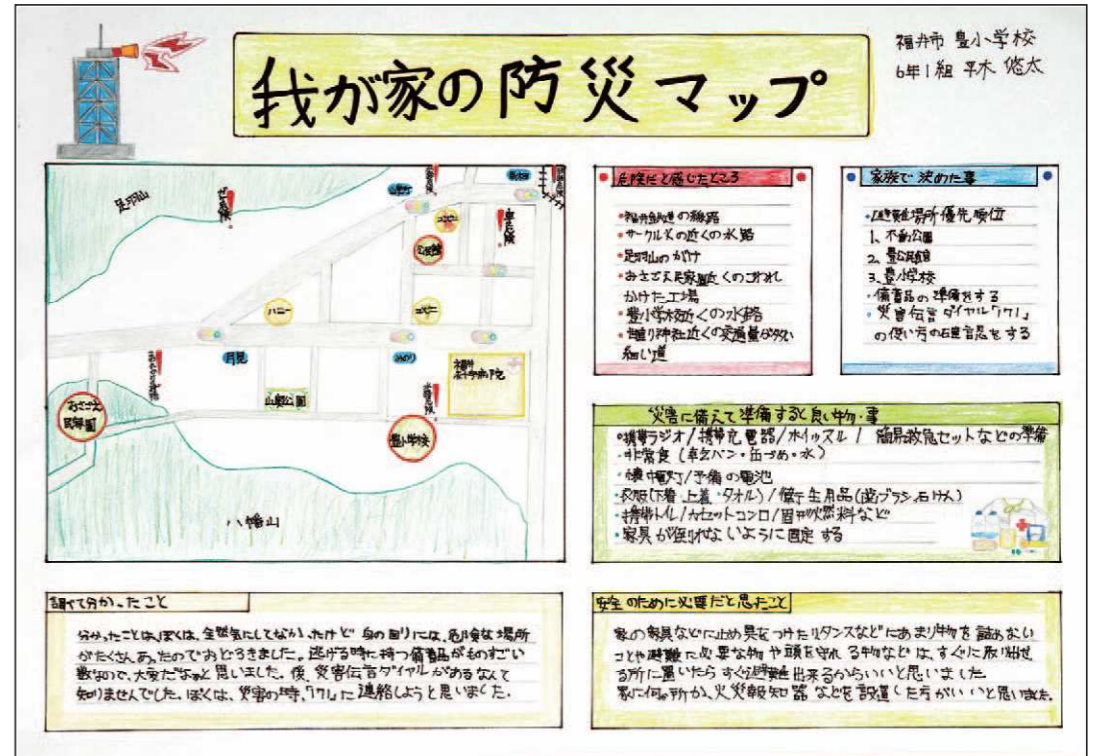
自宅付近の避難場所や防災施設を写真入りで載せ、わかりやすい地図で示しています。また、家族で相談して決めた災害時の対応を箇条書きで簡潔に示し、万一の時にたいへん役立つ内容になっています。



福井市豊小学校 6年
平木 悠太さん

講評 (審査委員)

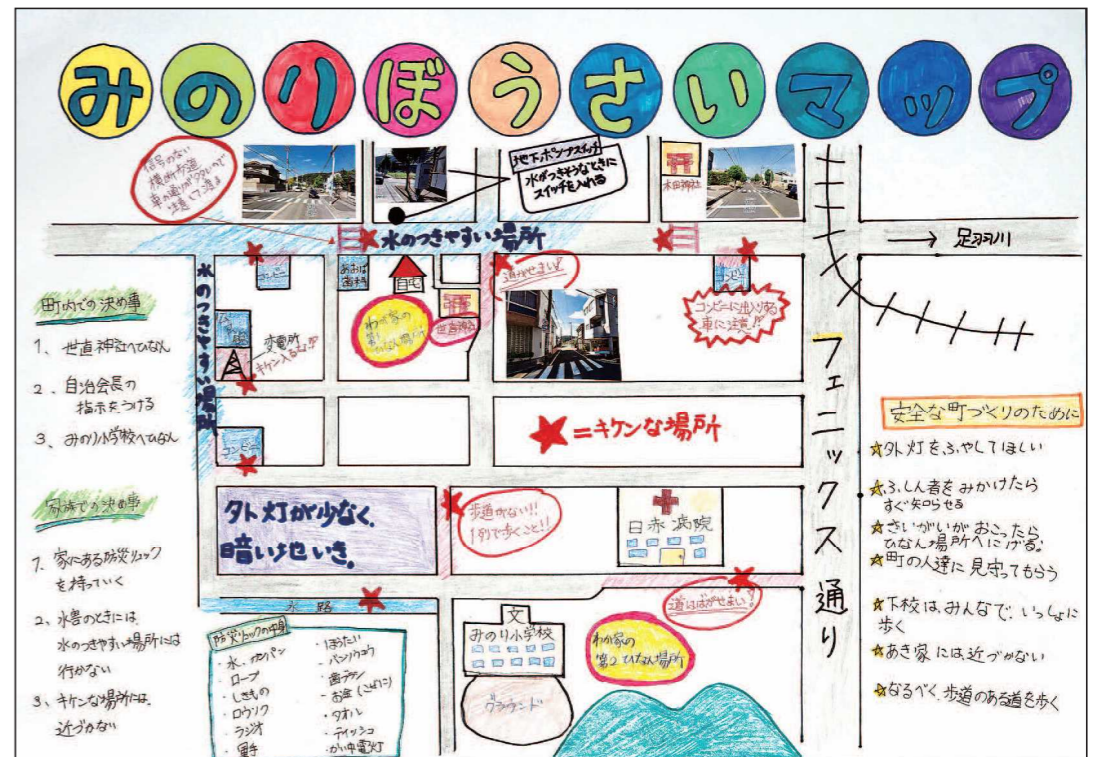
全体的にレイアウト構成もよい「防災マップ」となっています。自宅から避難所まで、実際に歩いて危険だと気づいた点をまとめてあり、地図も分かりやすく描かれているので、とても分かりやすいです。今回、家族で防災について話し合い、その中で決めたことや思ったことをしっかり書いてあるのが素晴らしいです。



福井市豊小学校 4年
大村 望乃さん

講評 (審査委員)

水のつきやすい場所や危険な場所が色分けされ、写真も使いながら分かりやすく表記されていてよかったです。また、何が危険なのか具体的に書いてあり、実際に避難する際に、大変参考になると感じました。





福井市豊小学校 5年
瀬野 佑月さん

講評 (審査委員)

3つのテーマに沿って、きちんとまとめてあります。マップは、地域を実際に検証した結果が忠実に表され、危険箇所、水位なども記載され、避難の流れも考察されています。今回の取り組みの感想もしっかりまとめてあります。

わが家の水害マップ

家族で決めたこと!!

- 集合場所 ① 琴田公園 ② 豊小公 ③ 花堂町民会館
- 安否確認 災害伝言ダイヤル(1711)
- 近くにいる大人に助けをを求める
- 少しでも高い所へ上がる

避難場所いちらん

- 豊公民館
- 豊小学校
- 花堂保育園
- おさごえ民家園

水害時に役立つ情報!!

(災害に備えて何を準備したらいいの?)

けいたい品	非常持ち出し品
•貴重品	•非常食
•けいたいラジオ	•衣類
•ホイッスル	•衛生用品
•筆記用具	•懐中電灯
•けいたい電話	
•簡易救急セット	

情報の入手方法

- 広報車: 市の広報車や消防などの車両により、災害情報を配信
- 防災情報メール: 福井市が行っている登録制のメールサービス。気象情報や市からのお知らせ、災害情報を配信
- 防災行政無線: カイレンや音声によって、災害情報を配信。放送された内容をもう一度確認したい場合は下記の番号へ 0776-255-2714
- インターネット(SMS・市のHP): 福井市のHPやフェイスブック、ツイッターで災害情報を配信。福井市外の方でも福井市の災害情報を知ることができる。
- さん息通報メール: さん息、地震速報やひなん情報は登録していることで自己確認。けいたい電話の機種によって受信設定が必要なものもあるので確認してください。

まとめ感想

わたしは防災マップを書いてみて、情報の入手方法などわたしの知らないことがたくさんあってびっくりしました。そして防災マップのおかげで家族で災害の時の約束を決めることができてよかったです。もし災害が起きたら、上のひなんの流れのとおりになんか走らなくていいよ、ということに気づくことができてよかったです。わたしがこの防災マップを書いてみて一番よかったです。わたしは、わたしの知らなかった防災について、このことがよかったです。わたしは、災害があったらこれを生かしてひなんしたいです。



小浜市国富小学校 5年
飛永 萌衣さん

講評 (審査委員)

避難場所への経路や避難の際の目印、浸水しやすい危険な場所、最近の対策工事で以前よりも安全になった場所など、住んでいる地域の様子がよくまとめられています。特に、避難経路が二つ示され、リダンダンシー(補完性)についてもよく考えられている作品です。

防災マップ

家族で決めた約束

- 有線放送やニュースを聞いたり見たりして災害情報を知る。
- 避難リュックを持っていく。
- 体を温める服そうに着替えたり持っていく。
- 家族に声を掛け集合してから避難する。

災害時の避難場所

次吉のお寺 (新福寺)



福井市社西小学校 4年
酒井 雄人さん

講評 (審査委員)

福井豪雨の当時の記録写真をしっかり見たうえで、実際に自宅から避難所まで歩いて危険箇所も入れた地図になっているところが分かりやすく素晴らしいです。避難所での約束事も、小学生らしい目線で書いてあって分かりやすいです。何より、優しい気持ちが随所に表れている「防災マップ」に心ひかれました。



福井市社北小学校 6年
川崎 菜々子さん

講評 (審査委員)

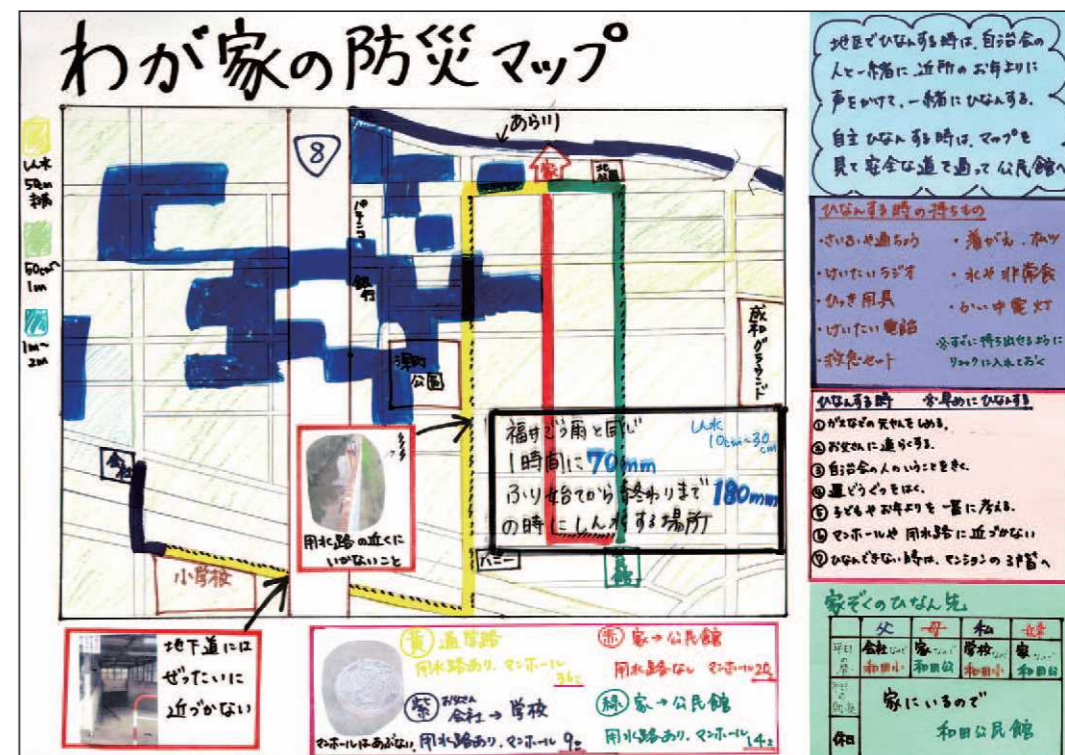
自宅から避難場所までの経路について、危険箇所を調べて分かりやすく示されています。また、災害時の心得、持ち出し品、そして家族の約束事などが明記され、災害時にたいへん役立つ内容になっています。



福井市和田小学校 2年
青木 優那さん

講評 (審査委員)

地図に透明なアクリル板を重ねて浸水想定地域を表現する工夫がみられます。マンホールや用水路、地下道など避難の際に危険な箇所を実際に点検し、地図に表記されているのがよかったです。家族で話し合って、避難時の注意事項や平日・休日の避難先を整理したことが作品から伝わります。





福井市豊小学校 6年
義元 佑奈さん

防災マップ

「家族で決めた約束事」
 ・災害が起きた時の避難場所は、豊公民館にする
 ・いつ災害が起きてもすぐに避難できるように最小限の食料を用意する
 ・災害が起きた時は、家族や近所の人と、いしょに行動し、協力しよう

公団の建物の中に防災用品がある

「もしもこの地域で災害が起きたら危険だと感じます」
 ・ここは人が低い地域であるため水がきたりやすい
 ・住宅に池であるため水が来たときに食料がすぐになくなる可能性がある
 ・などでおおきなおおきな災害の被害に合う可能性がある

「防災に役立つこと」
 ・おのり公園の倉庫の中には、防災用品があり避難場所になる
 ・福井赤十字病院が近くあり、けがをした場合なども早く手当てができる
 ・食料を運ぶ場所が分かる(ユニバーシティのオアシス・セブナイランド)

「防災マップ作成の目的」
 ・おのり公園の倉庫
 ・福井赤十字病院
 ・豊公民館
 ・おのり公園
 ・山公園

名称	所在地	避難可能人数
おのり公園	福井市豊小学校	100人
豊公民館	福井市豊小学校	100人
おのり公園	福井市豊小学校	100人
山公園	福井市豊小学校	100人
福井赤十字病院	福井市豊小学校	100人
ユニバーシティ	福井市豊小学校	100人
セブナイランド	福井市豊小学校	100人

災害時に食料が買える場所



福井市豊小学校 5年
南部 優来さん

わか家の防災の約束

1. 最初に 私の住んでいる豊地区は昔から多くの水害にあい、十年前七月十八日の福井豪雨でも多くの被害にあいました。

2. 地域の人に聞いたこと
 ・江ばた川はすぐ水(やよい)ので近よらない(地域の人)
 ・福井豪雨の時は玄かんまで水がきた(地域の人)
 ・水がつくと町内の人に言われてひなんした(おぼろ)

3. 家の近くのきけんか所

4. わか家の防災マップ 凡例
 赤: 水害が起きやすい地域
 青: 避難場所
 緑: 防災用品の場所

5. 家族で決めたこと
 ① 家の近くには避難所にする
 ② 小学校の近くに避難所がある
 ③ 川はすぐ水がきたりやすいので近づかない
 ④ 小さい用水路は道端の排水溝に水を流さない
 ⑤ 山の近くは大雨が降ると危険がある

6. 感想
 ① 避難場所をちゃんと決めておくのがいい
 ② 避難所にも避難所がないところもある
 ③ 避難所にも避難所がないところもある



福井市豊小学校 5年
大塚 琉世さん

豊地区 水害ぼうさいマップ

2004年7月18日、福井豪雨による水害が発生しました。ほとんどの住む月見4丁目には床上1mの水の被害を受けました。そこで、豊地区の水害時の避難場所を調べました。

1時間に30mm以上の雨が降った時は、床上1mの水の被害を受けました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

福井豪雨の時には、1時間に70mm以上の雨が降りました。水害の後に大雨がふった時の雨水を貯めておく、おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。



福井市豊小学校 4年
帰山 あいさん

わか家の防災

上のマップで私の家は、洪水の時には1~2mの水がたまる

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。

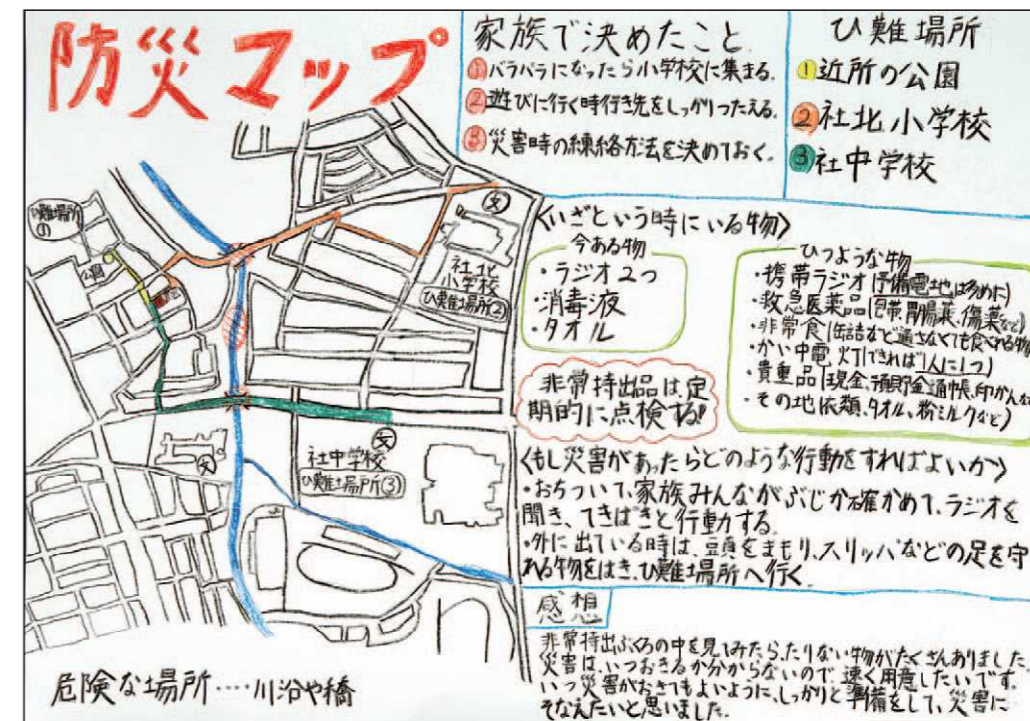
おのり公園(公民館横)や月見、おのり雨水貯留池が作られました。これらの工事によって、道路に雨がたまりにくくなり、水の水害が少なくなりました。



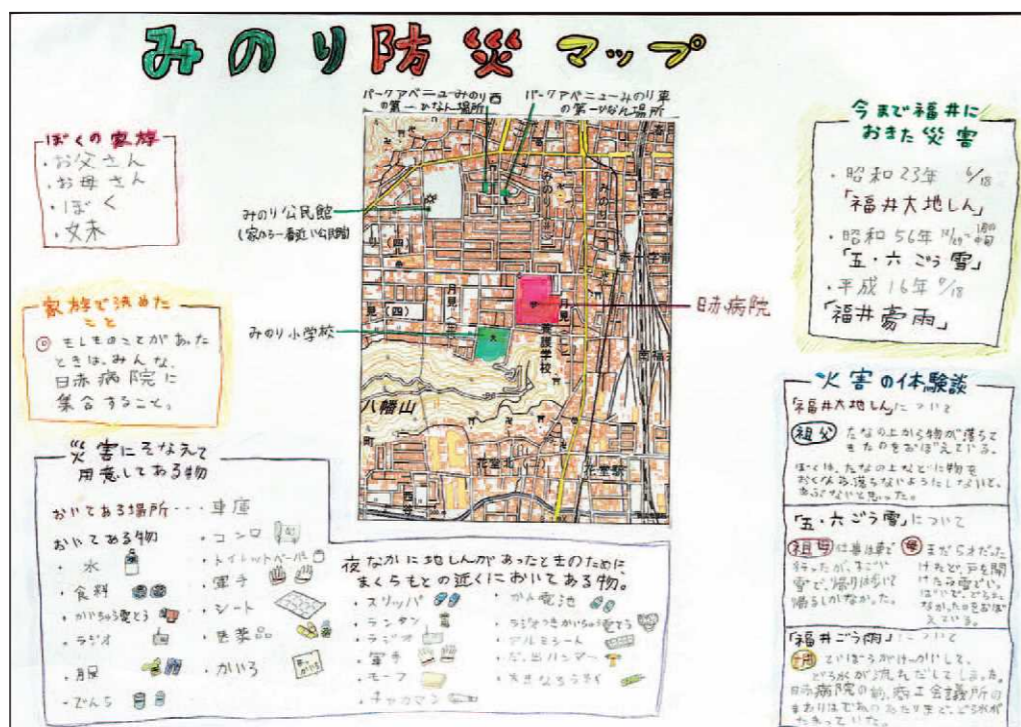
福井市豊小学校 4年
谷口 紫音さん



福井市社北小学校 6年
小幡 美侑さん



福井市豊小学校 4年
堀内 健人さん



福井市社北小学校 6年
中村 和匡さん

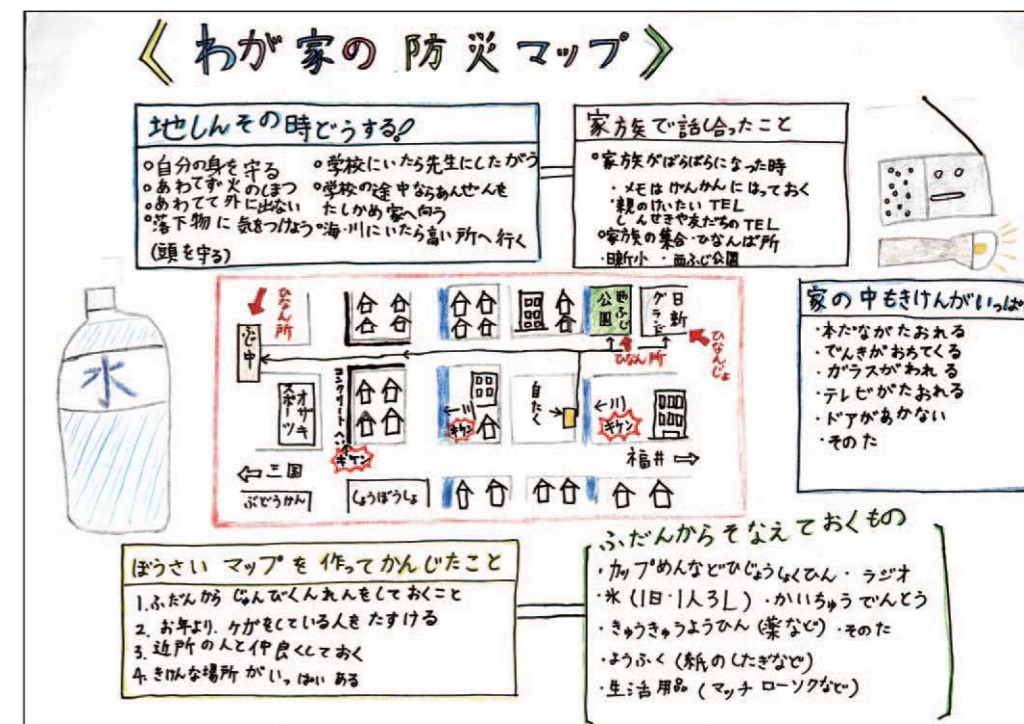




福井市社北小学校 6年
吉岡 陸さん



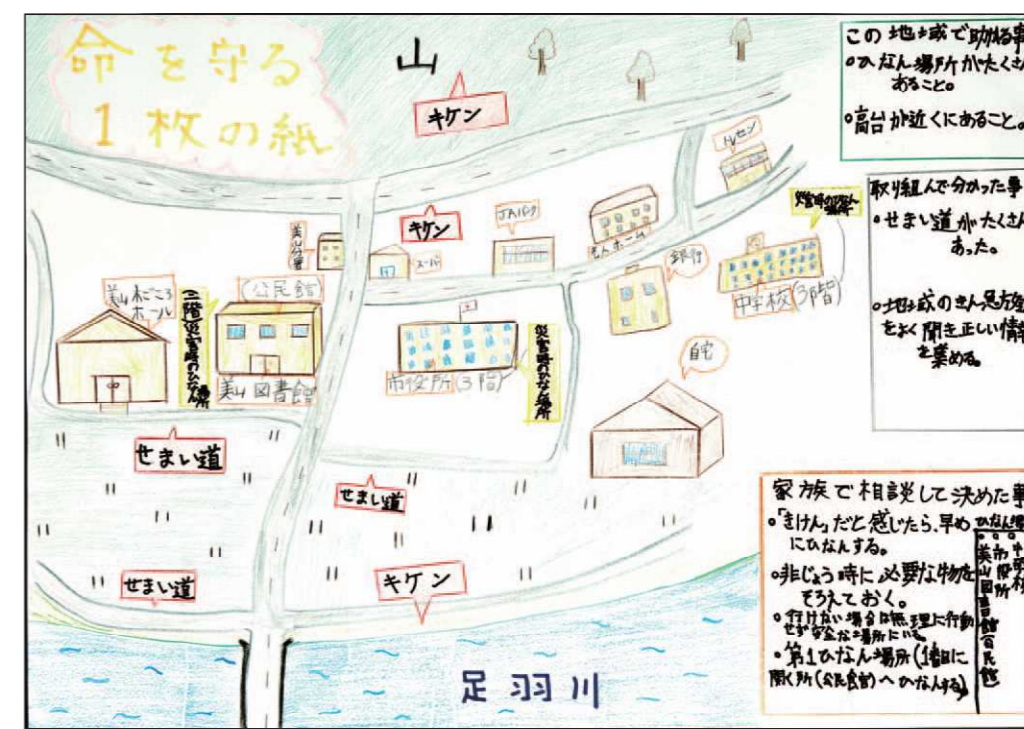
福井市日新小学校 3年
小林 大翔さん



福井市社南小学校 5年
島田 真佑さん



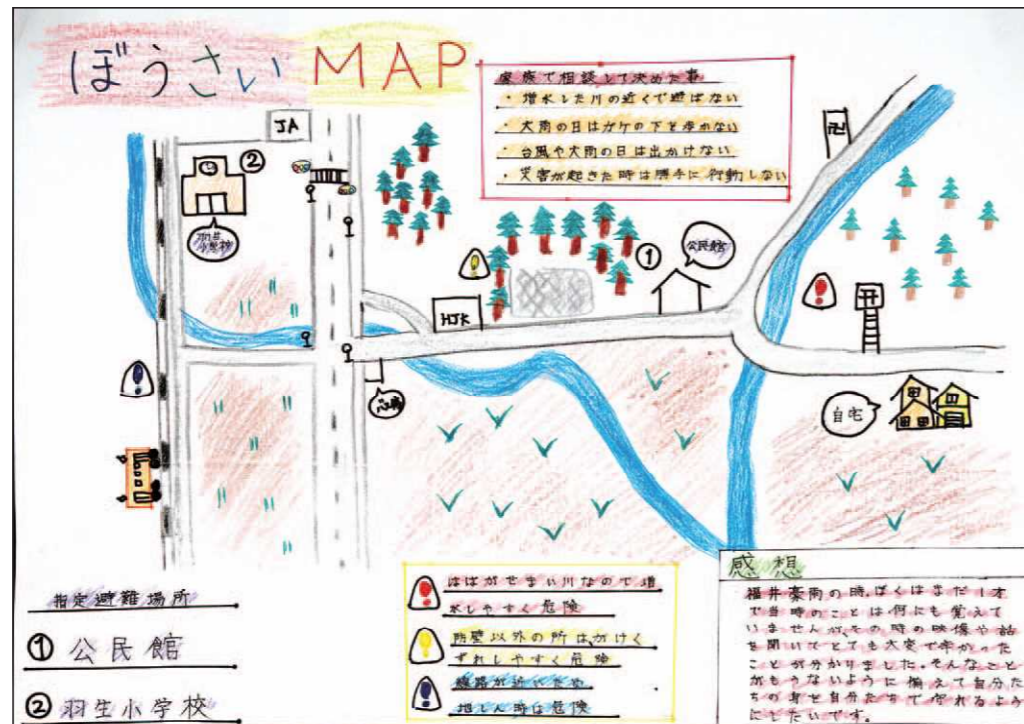
福井市美山啓明小学校 5年
酒井 未来さん





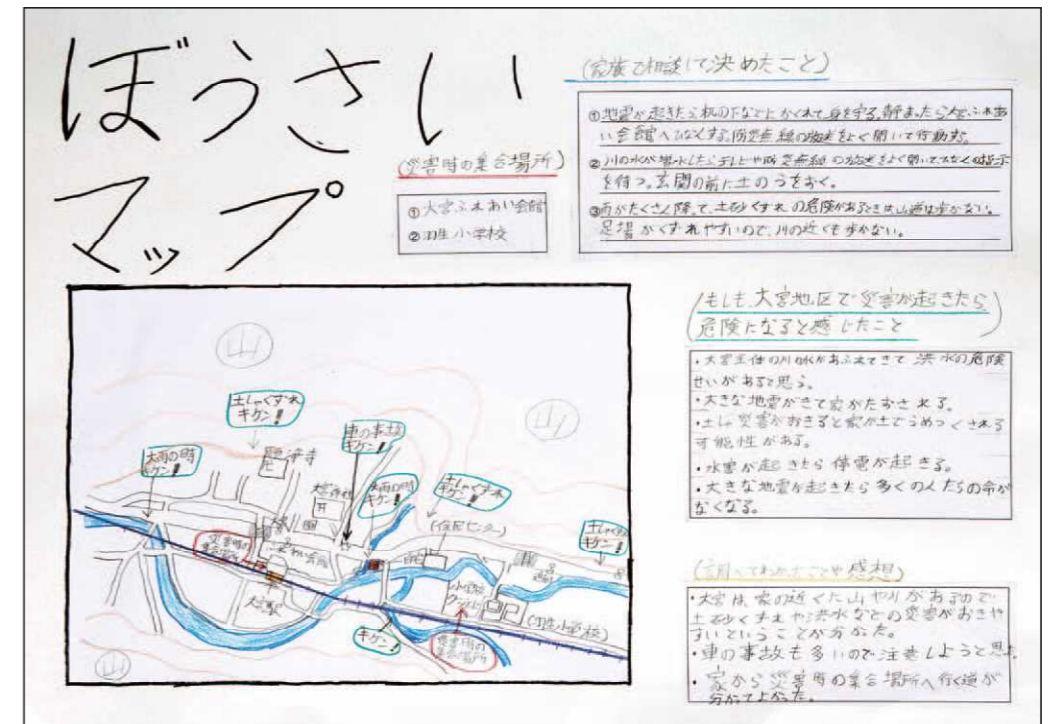
福井市羽生小学校 6年

銅 健吾さん



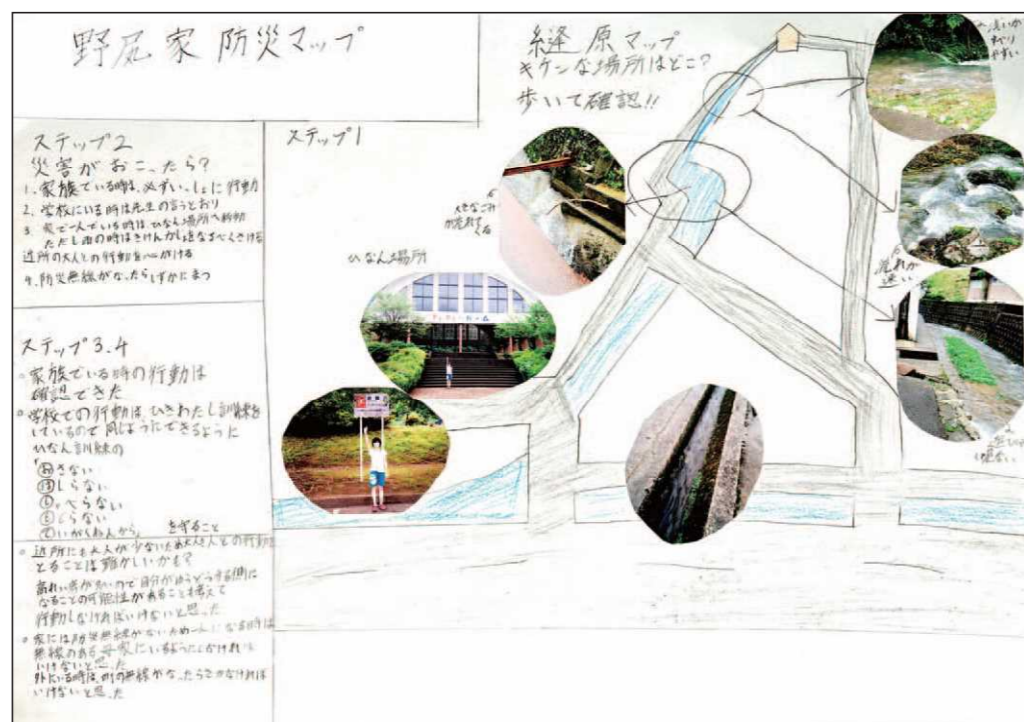
福井市羽生小学校 5年

笠松 憲人さん



福井市羽生小学校 6年

野尻 凜華さん



鯖江市河和田小学校 5年

山本 真奈花さん





奨励賞

小浜市国富小学校 5年
倉谷 穂乃花さん



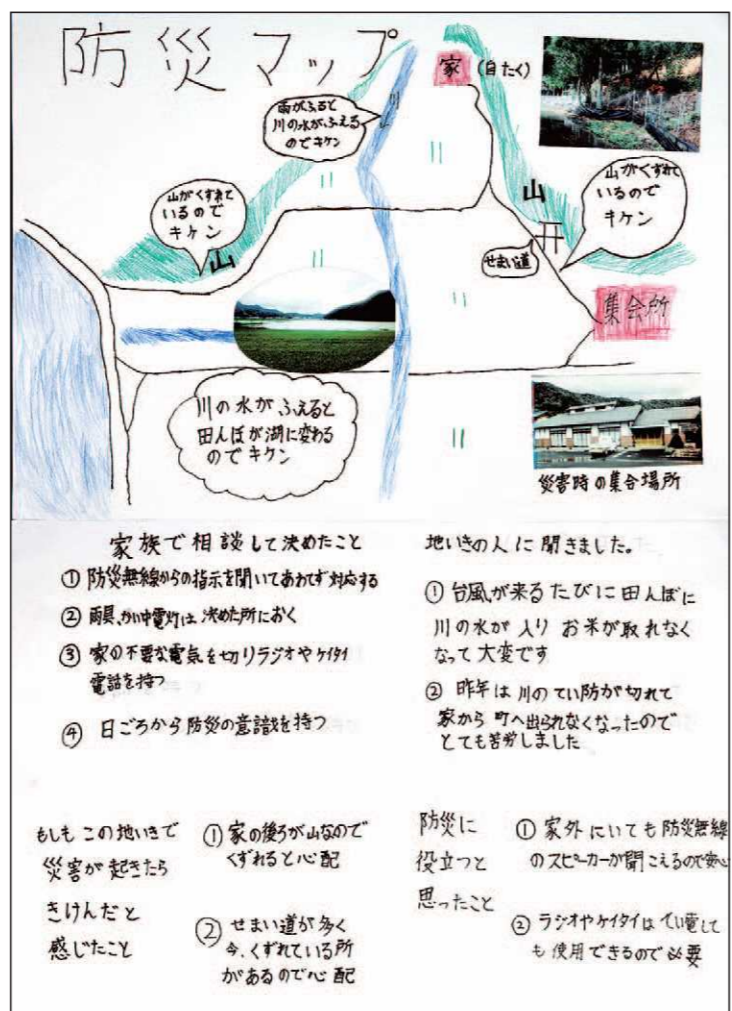
奨励賞

小浜市国富小学校 5年
高鳥 あゆさん



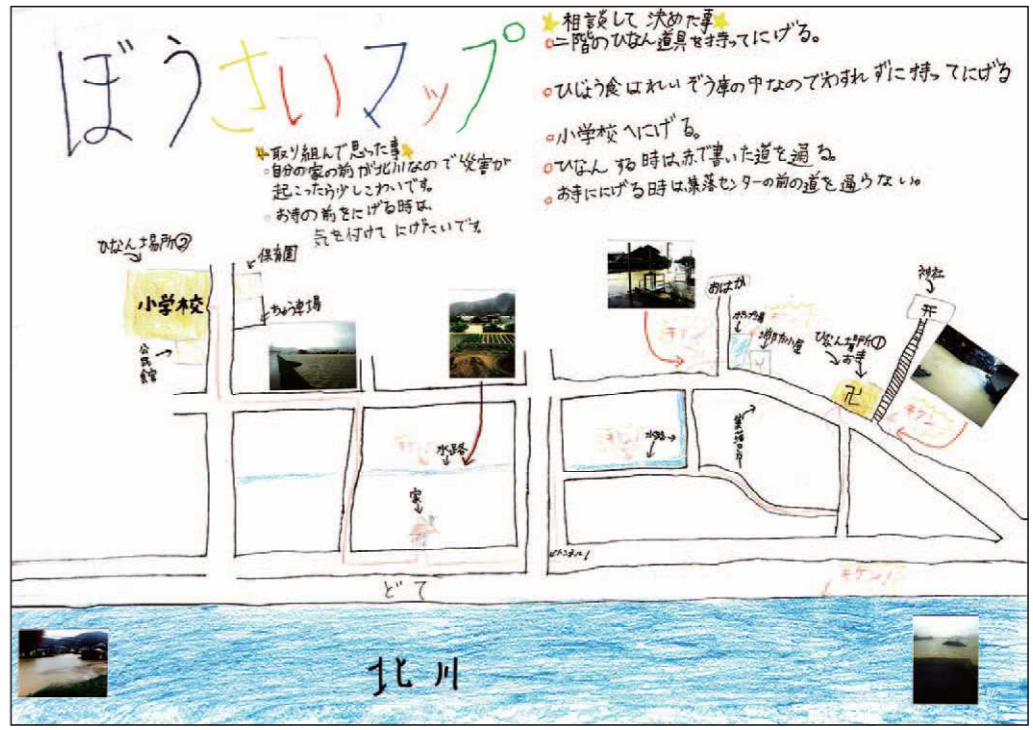
奨励賞

小浜市国富小学校 5年
辻井 雅崇さん

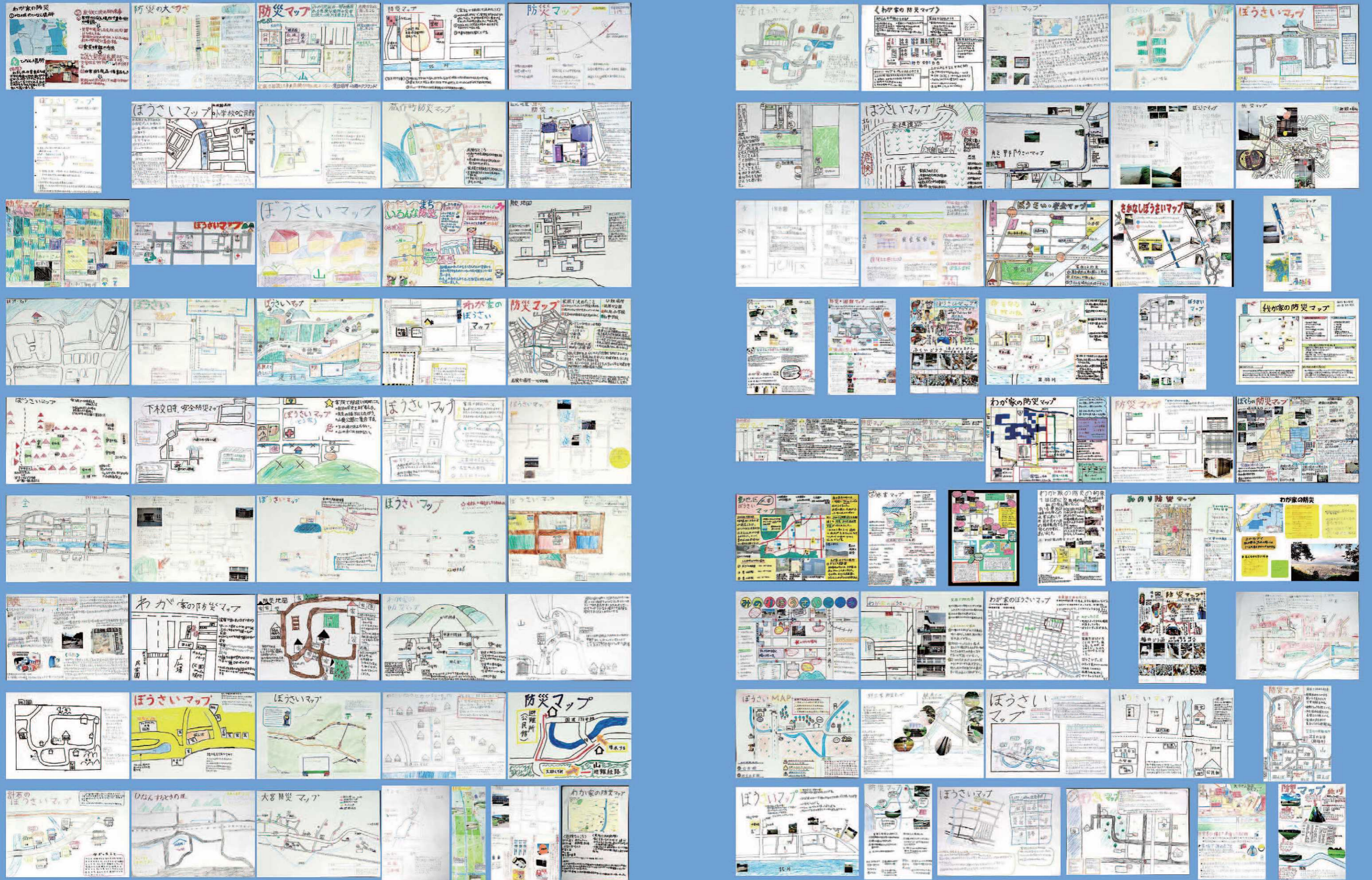


奨励賞

小浜市国富小学校 5年
出口 涼帆さん



応募のあった95作品



ふくいの水防災を考える会の活動

大きな被害をもたらした福井豪雨から今年で10年。その後も自然災害による被害は全国で後を絶ちません。台風や大雨による河川の氾濫、大震災など、いつどこで起きてもおかしくない災害に備えて、日ごろから水防災に対する意識を持っておく必要があります。福井豪雨から10年ふくいの水防災を考える会を平成26年6月に立ち上げ、身近に起こりうる自然災害に備え、子ども目線で防災を考える事業を展開してきました。

巡回パネル展（福井豪雨、嶺南豪雨）



- 6月23日(月)～26日(木) 福井県庁ホール
- 7月6日(日)～9日(水) 福井新聞社・風の森ギャラリー
- 7月10日(木)～17日(木) 福井市みどり図書館
- 7月16日(水)～18日(金) 福井市役所1階ホール
- 7月19日(土) 福井県民ホール
- 7月26日(土)・27日(日) 福井県産業会館（ふくいオトナ博覧場）
- 7月25日(金)～31日(木) 鯖江市文化の館（図書館）
- 8月1日(金)～28日(木) 福井県生活学習館
- 8月29日(金)～9月10日(水) 福井県立図書館
- 9月16日(火)～26日(金) 小浜市役所
- 9月27日(土)～10月5日(日) 福井県立若狭図書館学習センター

防災補助教材を制作



小学生向けの補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を制作し、県内の全小学校などに配布しました。



家族でかくにん！ わが家のぼうさいコンテスト

地域の危険箇所や避難場所、家族の約束事を決めるコンテスト。95点の応募があり、9月に審査会を行い、入賞作37点を選考しました。



防災出前授業やっています！

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会では、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作りました。

また、福井県では小学校へ出向いての防災出前授業を行っていますので、ご希望があれば福井県砂防防災課までご連絡ください。

福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

キックオフシンポジウム

「問い直そう、福井豪雨の教訓～あれから10年」

7月19日(土) 福井県民ホール

- 福井豪雨パネル展
- NHKが募集した写真、体験談の展示
- 「いのち未来へ（福井豪雨の記録）」上映（NHK）
- パネルディスカッション「命を守るための避難」

パネリスト 牛山 素行氏 静岡大学防災総合センター 教授
 柿下 毅氏 福井地方気象台 台長
 竹内 成和氏 福井県 土木部技幹（防災・特定事業）
 飛田 幸平氏 福井市 危機管理対策監
 福井豪雨を考える会
 歳作をよくする会
 国見地区自主防災組織連絡協議会
 進行 佐伯 真規 NHK福井放送局シニアアナウンサー（防災士）



総括シンポジウム

「災害に強い地域をめざして」

10月11日(土) 福井商工会議所コンベンションホール

- パネル展示
 - ぼうさいコンテスト入賞作品、
 - 福井豪雨記録写真、
 - NHKが募集した写真、体験談
- 上映（福井豪雨の記録映像集）
- パネルディスカッション「災害に強い地域をめざして」

パネリスト 角 哲也氏 京都大学 防災研究所水資源環境研究センター 教授
 柄谷 友香氏 名城大学 都市情報学部 准教授
 東村 新一氏 福井市長
 森久保 司氏 国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
 進行 山下 裕己 福井新聞社論説主幹



主催／ 福井豪雨から10年ふくいの水防災を考える会
 （国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町）

NHK福井放送局 福井新聞社

後援／ 福井県教育委員会